

# 接続 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

## ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けである車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

## 電源配線についてのご注意

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、別売りの電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

## 純正アンテナブースターの接続

車種(一部のパーアンテナ車種を含む)によっては、純正アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色コードを純正アンテナブースターに接続するか、アクセサリ電源から電源を取るようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

## パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、次のようなときにパワーアンテナが自動的に出ます。

- TUNERボタンを押したとき
- FM文字多重放送を受信しているとき(別売りのFM文字多重放送ディスプレイユニット接続時)

## 初期設定が必要なスイッチ

アクセサリポジションのない車でお使いになる場合

パワーセレクトスイッチ

必ず本機底面にあるパワーセレクトスイッチを②の位置に合わせてください。本機のOFFボタンを押したときに、ボタンが点灯しないようにすることができます。また、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。

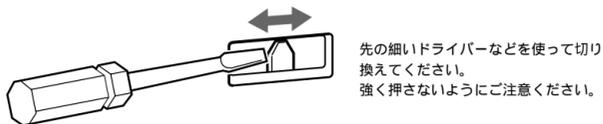
FMをアンテナ2本(ダイバーシティシステム)で受信する場合

ダイバーシティ切り換えスイッチ

必ず本機底面にあるダイバーシティ切り換えスイッチをONの位置に合わせてください。

### ご注意

本機のダイバーシティアンテナは、トヨタ車のダイバーシティ対応車種の場合、そのまま接続してお使いになれます。他の車種でお使いになる場合は、別売りの変換アダプターが必要です。



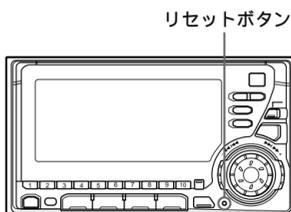
スイッチを切り換えたときは電源の接続をしたあとに、必ずリセットボタンを押してください。

## アンテナ1本で受信する場合

通常1本のアンテナをお使いになる場合は、本機のアンテナコネクターのMAINと表示されている(太い)方に車両側のアンテナを接続してください。SUBと表示されている(細い)方に接続すると正しく受信できません。

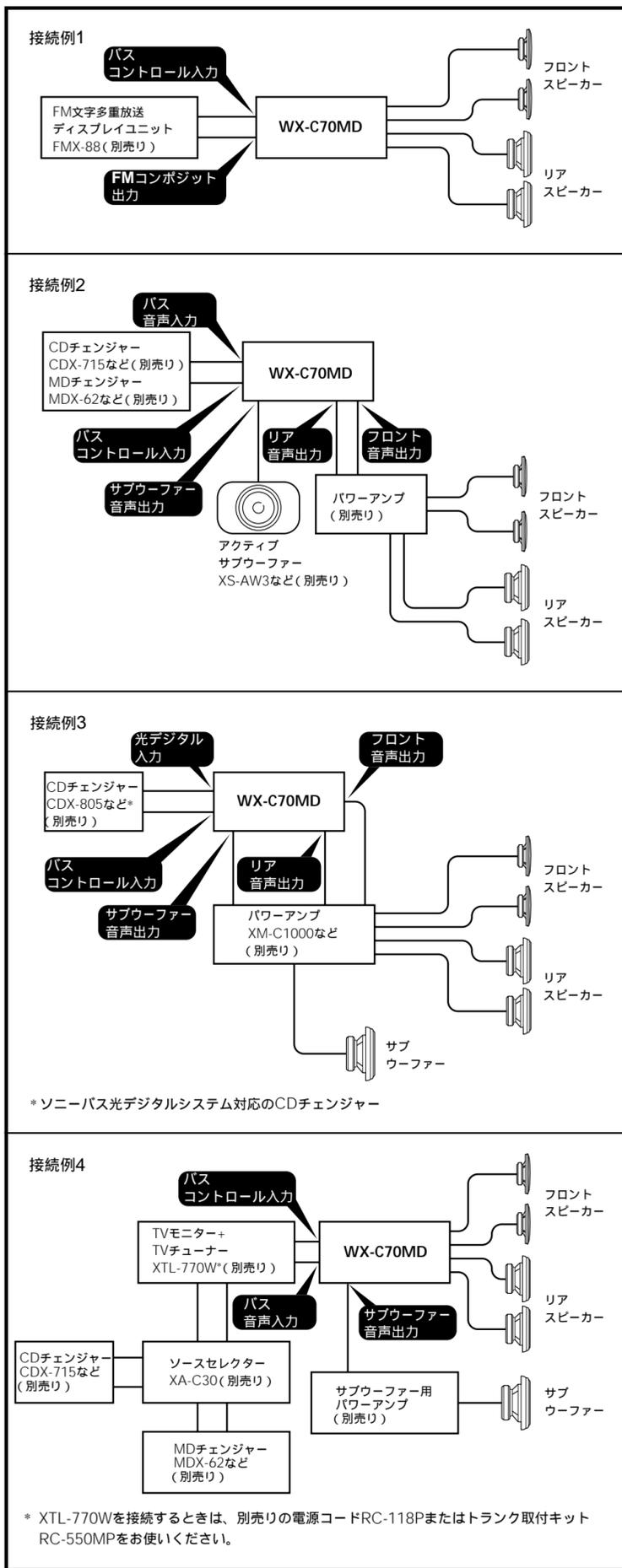
## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 必ず、本体にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因となります。またリセット後に初めてフロントパネルを開けた場合、10秒間はCDを入れなでください。



## システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合、別売りのソースセクターXA-C30が必要です。



## 接続説明書

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この接続説明書と取付説明書、取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この接続説明書と別冊の取付説明書、取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この接続説明書と別冊の取付説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

## WX-C70MD

Sony Corporation © 1998 Printed in Japan

### 接続部品(付属)



### 別売品

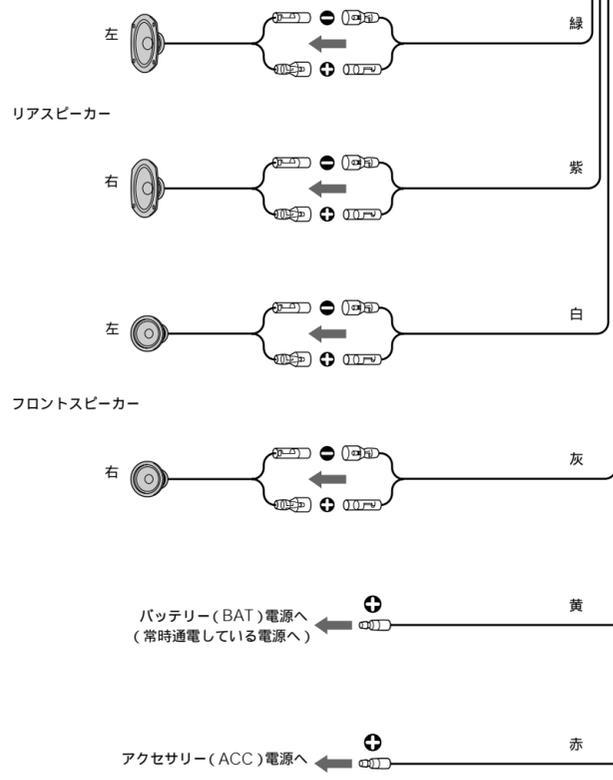
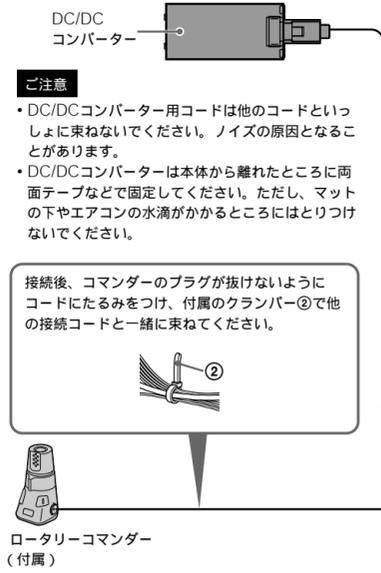
CDチェンジャー	CDX-805(10枚) CDX-715(10枚) CDX-T602(6枚) CDX-T605(6枚)	バスケーブル(RCAピンコード付属)	RC-61(1m) RC-62(2m)
CD/CD-ROMチェンジャー	CDX-R61(6枚)	バス延長コード	RC-U305(0.5m)
MDチェンジャー	MDX-62	RCAピンコード	RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
FM文字多重放送ディスプレイユニット	FMX-88	バスシステム接続キット	RC-130
モバイルカラー-TV	XTL-770W	光接続アダプター	XA-D110
電源コード	RC-118P	光音声用コード	RC-97(2m) RC-98(5m)
トランク取付キット	RC-550MP	電源コード	RC-39
アクティブサブウーファー	XS-AW3		
サブウーファー用パワーアンプ	XM-C1000		
ソースセクター	XA-C30		

### ご注意

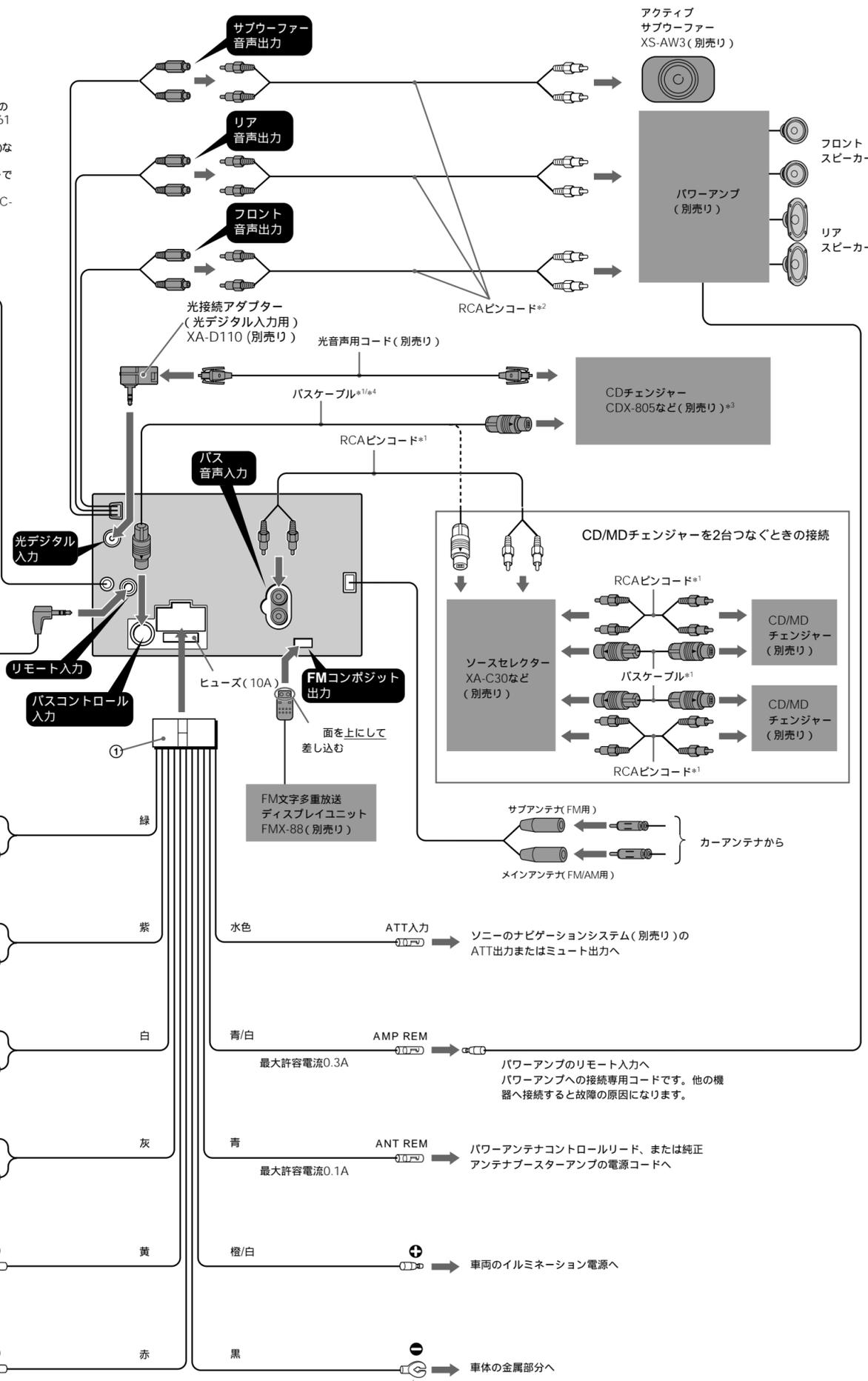
本機には別売りのデジタルリアンプやイコライザーは接続できません。

# 接続 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

- \*1 CD/MDチェンジャーまたはソースセレクターに付属のRCAピンコード/バスケーブル、または別売りのRC-61(1m)、RC-62(2m)などをご使用ください。
- \*2 別売りのRC-63(1m)、RC-64(2m)、RC-65(5m)などをご使用ください。
- \*3 ソニーバス光デジタルシステム対応のCDチェンジャーです。
- \*4 バスケーブルが車両側に接触するときは、別売りのRC-U305(0.5m)をご使用ください。



赤色コードおよび黄色コード、橙/白線コードを接続する前にアースしてください。



## 電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ (ACC) 電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ (ラジオ回路など) に接続します。
黄色コード	バッテリー (BAT) 電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
青色コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーアンテナのコントロール出力コード ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。</li> <li>純正アンテナプースターアンプの電源供給出力コード</li> </ul>
<b>ご注意</b> リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。	
青/白線コード	パワーアンプのコントロール出力コード (パワーアンプ専用)
橙/白線コード	イルミネーション電源入力コード 車のヘッドライト (スモールランプ) スwitchを入れたとき、本機のディスプレイが減光します。
水色コード	ATT入力コード ソニーのナビゲーションシステム (別売り) のATT出力またはミュート出力に接続します。

## スピーカー

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーをお使いください。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。許容入力の小さいスピーカーを使って音量を上げると、スピーカーを破損することがあります。
- スピーカーの⊕、⊖端子を車のシャーシなどに接続しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーコードどうしを接続しないでください。特に⊕端子どうし、⊖端子どうしを接続すると、故障の原因になります。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの⊖側が共通になっているものは使用できません。そのまま使うと故障の原因になります。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、コードには何も接続しないでください。故障の原因になります。
- 本機のスピーカー出力にアクティブスピーカー (アンプ内蔵スピーカー) を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。

## ヒューズ

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量 (アンペア数) のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側 (純正ラジオ用バックアップ電源) のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。

## 光接続アダプターの取り付け

ソニーバス光デジタルシステム対応のCDチェンジャーを接続するときは、光接続アダプター (別売り) に光音声用コード (別売り) の端子を接続してから、本機の裏面にある光デジタル入力専用のジャックに差し込みます。

